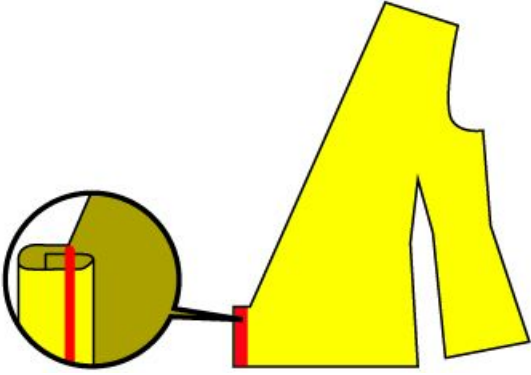
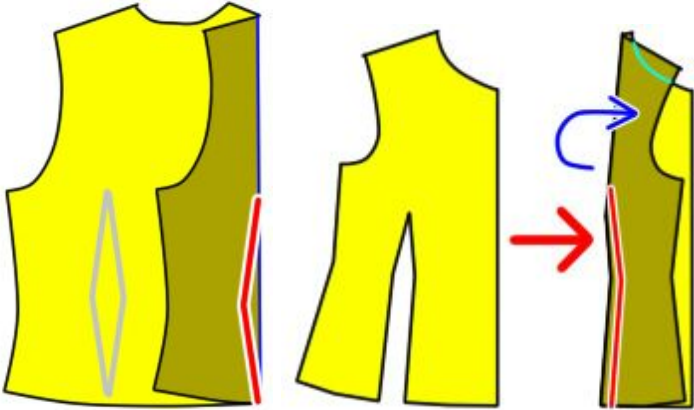

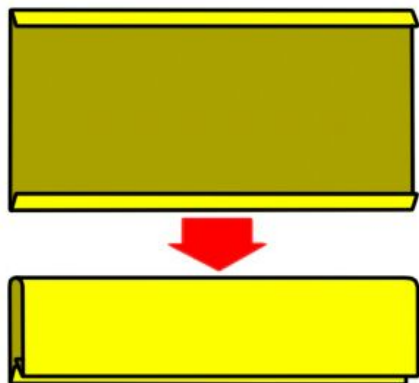
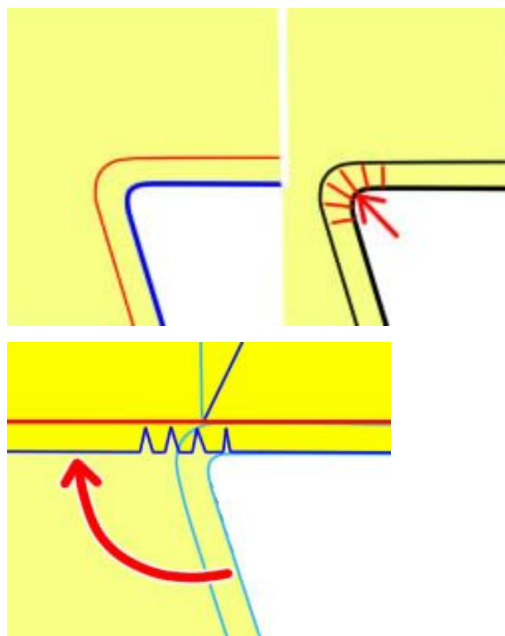


<p>■ 表    ■ 裏</p> <p>■ 接着芯</p>	<p>裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。</p> <p>型紙で指示されたパーツの裏に接着芯を付けてください。</p> <p>くわしくは縫う前の下準備を参照してください。</p> <p>お洋服に模様や刺繍を入れたい場合はこの時点で入れておくと楽です。</p>
	<p>衿付け（えりつけ）の下の部分（赤い部分）を三つ折りする。</p>
	<p>身頃のダーツを縫ってください。</p> <p>ダーツ＝立体にするためのつまみ。</p> <p>（このデザインに関してはダーツを縫ってからほつれ止めをしたほうが良いです）</p> <p>ダーツは前は脇、後は中心に向けてアイロンで片方へ折ってください。</p>
	<p>表側同士が内側になるように重ね身頃(胴体部分)の肩と脇を縫ってください。</p>
<p>えり付け</p>	



えりをアイロンで折ってください。  
両端の縫い代を1cm折り、さらにそれを真半分に折ってください。

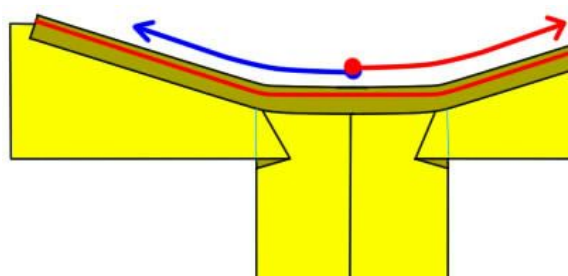


えりのカーブの所に切り込みを入れてください。

切り込みを入れて、縫い代のラインをまっすぐにするによって、直線のえりが縫いやすくなります。

このとき縫い代をまっすぐにする分、肩側の身頃がだぶつきますが、つまんだりしないように気をつけて縫ってください。

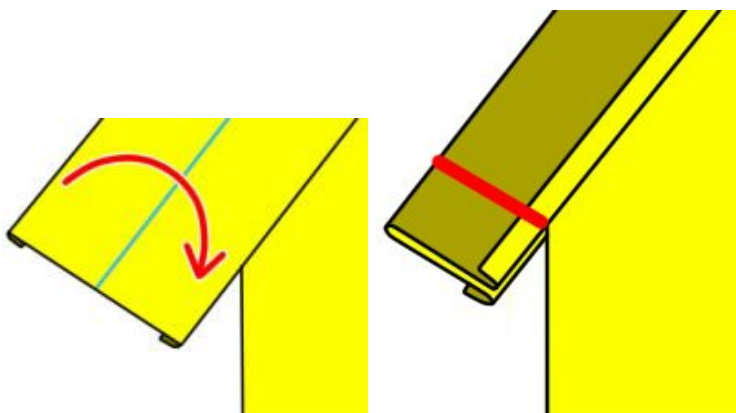
切り込みは縫い代の内側まで（0.7～0.9cm位）でとめてくださいね。



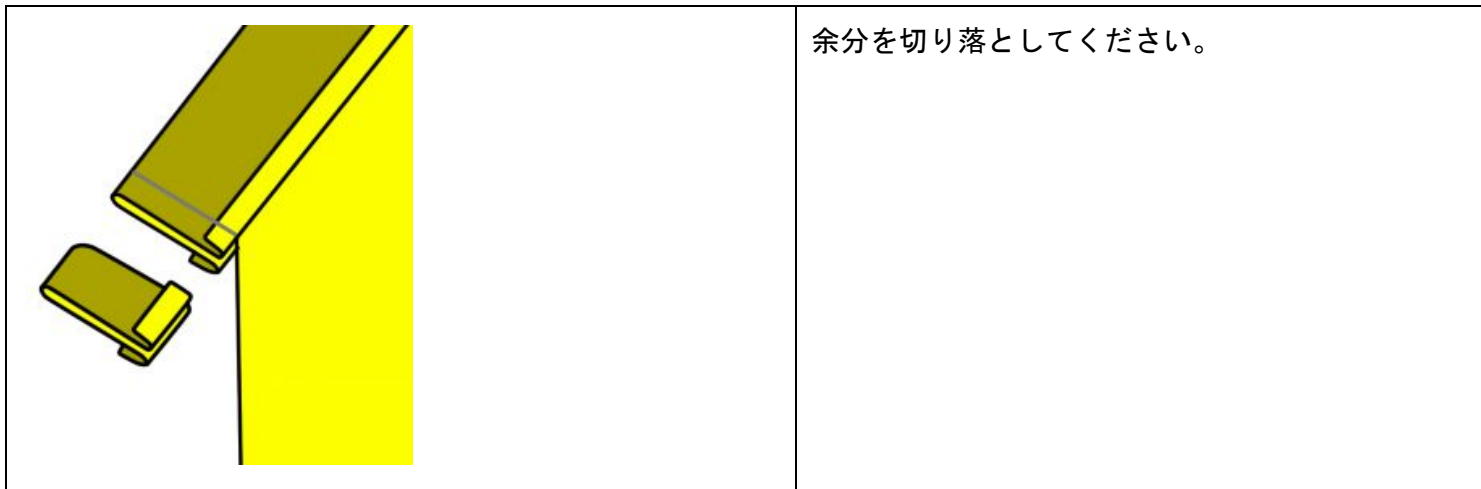
まずえりの中心と、身頃の背中心を合わせてください。

身頃とえりを表側が内側になるように重ねてください。

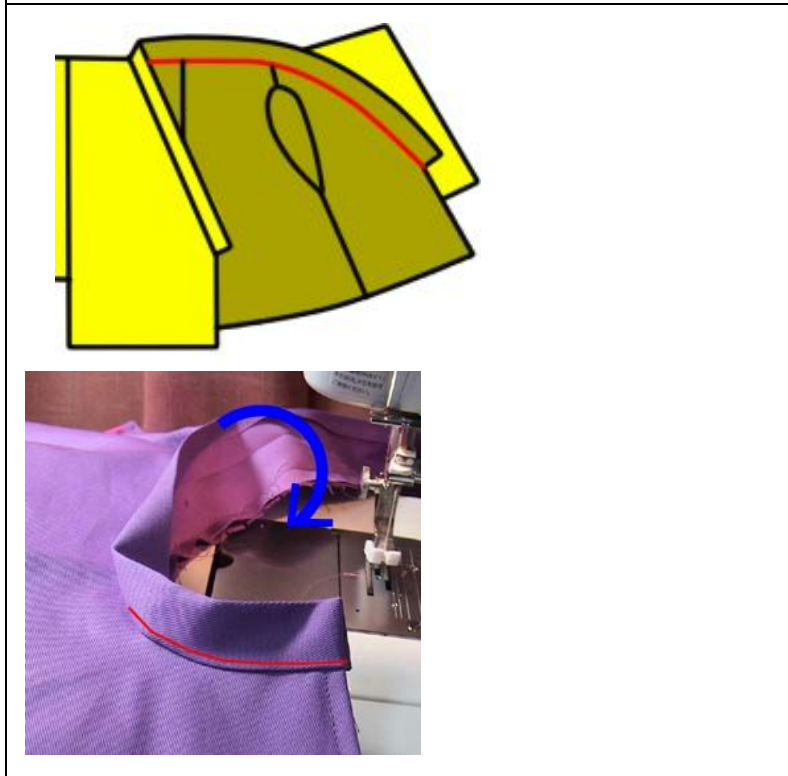
中心から左、また中心から右と縫っていくと綺麗につけやすいです。



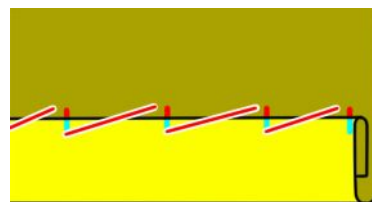
衿の先を縫ってください。  
衿の中心の折り山を裏向きに折り返してください。



余分を切り落としてください。



衿の裏の赤い部分を手縫い（まつりぬい）でおもてに目立たないように縫ってください。  
でもこだわらなければおもてからミシンで縫ってもいいです。



まつりぬい

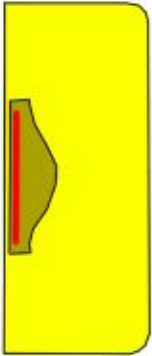
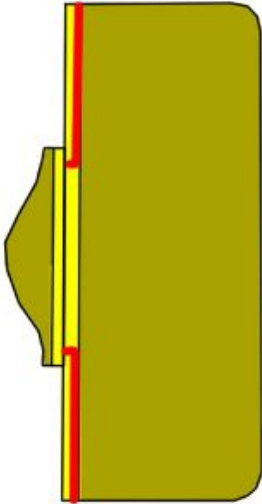
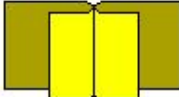
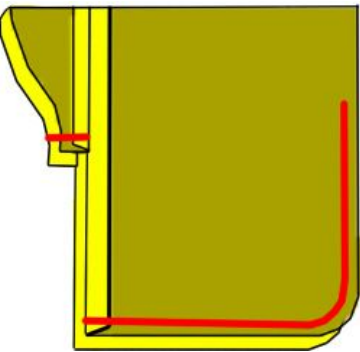
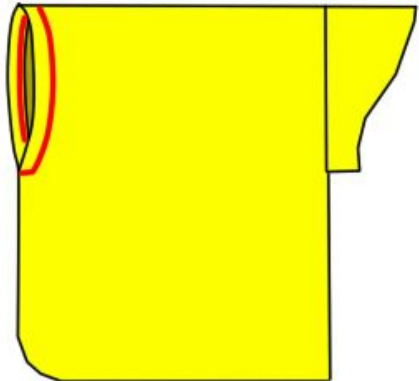
### そで付け

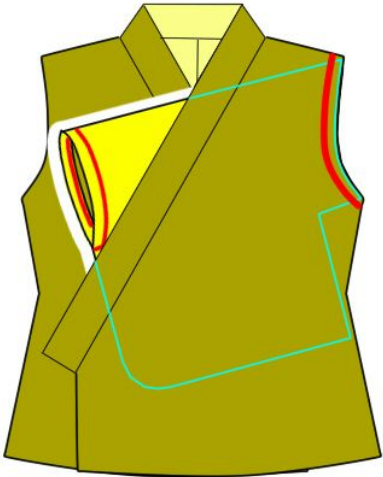

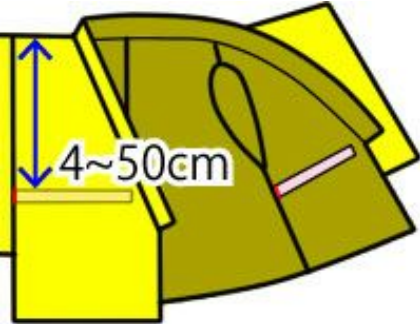
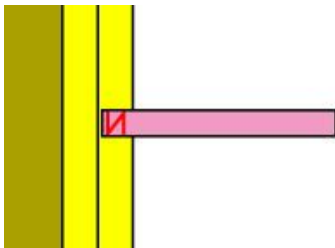





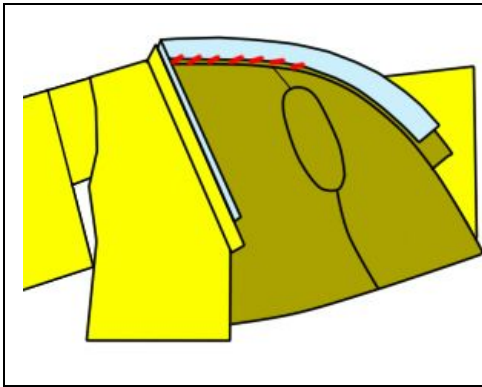
そで山には袖を立体にする為に余裕が入れています。

端から3mmと8mmのところにギャザーをよせてください。

ギャザーの寄せ方は縫う前の下準備参照

	<p>そでにそで山部分を縫ってください。 上下1cm縫いあけてください。</p>
	<p>そで山を起こしアイロンで縫い代を左右に折ってください。</p>  <p>縫い代を固定するために赤い部分を縫ってください。</p>
	<p>表が内側になるように半分に折ってください。 そで山の下側を縫ってください。 そでの横と底を縫ってください。</p>
	<p>表側にひっくり返してください。 そで口の縫い代をアイロンで折ってください。 そで口を縫ってください。</p>

	<p>表にしたそでを身頃の中に入れてください。 そでを縫ってください。 慣れていない人は、端から8mm位の所をしつけ糸で手縫いしてから、ミシンで縫ってください。</p>
	<p>すそをアイロンで折ってください。 ミシンで縫ってください。</p>
	<p>右脇と、左脇の上から4~50センチのところに縫い代に結び紐をつけてください。</p> 
	<p>結び紐は市販のリボンを使用すると楽です。 あまり布で作りたい場合は横30cm、縦4cmを上記のうちえりと同じように作ってください。</p>
	<p>両端の縫い代を裏に折ってください</p>
	<p>表に返し、端から3~5mmのところをミシンで縫ってください。</p>



内えりをつける場合。  
えりの型紙を使って作ってください。  
うちえりは先がほとんど隠れるので短めでOK。  
表から縫い目が見えないように、手縫いで内えりを縫ってください。

いるもの  
表生地、接着芯、糸

### ツイル

中厚手で比較的縫いやすいので初心者にも扱いやすいですよ。  
TCとかかれたものは綿とポリエステル混紡のものなので、頻繁に座ったりする方は綿100%よりシワになりにくいので、これを選ばれるとよいですね。

### 和柄プリント

さらさ・シーチングと書かれているものは薄めのブラウスと同じくらいの厚さのものでちょっと薄すぎて、風合いが貧弱になるので、薄い生地を使う場合は洗濯のりでパリッとさせるのがポイントです。

### スラブドビー

織り模様があり、そこそこ厚みもありシーチングなどに比べしわになりにくい。

素朴な雰囲気があるので、普段着の風合いを出したいときにオススメ

### TCブロード

薄手の綿とポリエステルの生地

軽くて張りがある。ポリエステルが入っているので綿100%よりしわになりにくい

ポリエステルアムゼン

梨地折と言う織り模様のあるやわらかい生地。

軽く薄くしわになりにくい。やわらかいのでシルエットがやさしい。

### ちりめん

ポリエステルのものは洗濯が出来しわになりにくい。

やわらかく上記のものの中では一番品がよく見えます